

J.A菊池青壯年部活動報告

J.A 菊池青壯年部は、菊池地域8支部（菊池、七城、旭志、泗水、合志、西合志、大津、菊陽）があり、盟友336名で構成しています。農業所得向上と地域農業の活性化に向けて、新規部員・正組合員の加入促進、後継者対策の実施、健康診断の受診促進、農業経営・農政学習会など、様々な活動を行っています。



▲講師を招いて農政学習会を開催



▲出前講座で、子ども達に農や食、命の大切さを伝える

地帶です。そのため、青壯年部の中に『ライス俱楽部』『畜産青年部』を設け、専門的な活動も行っています。また、次世代の担い手を育てるための食農教育・地産地消運動に力を入れる『食育プロジェクトチーム』を結成しています。

特に力を入れている食農教育活動では、支部ごとに地域の小・中学校、幼稚園等で体験学習や盟友による出前講座で、農や食、命の大切さを伝えています。また、地域内の教育関係者と連携し開催する「景色の見える食卓づくり推進シンポジウム」は、今年度7回目となり、保護者の関心も高まっています。



▲景色の見える食卓づくり推進シンポジウム



▲食農教育活動の一環で田植の体験学習

菊池地域は、阿蘇の伏流水が豊富に湧き出る菊池渓谷の良質な水で育まれた米どころであり、西日本有数の畜産



▲生産者と消費者が直接触れ合うことができる「光の森マルシェ」

農業・農村理解と地産地消のための情報発信強化を図ろうと始めた「光の森マルシェ」は、本年9月に3周年を迎えました。盟友が生産物を持ち寄り、対面販売することで消費者と直接触れ合うことができます。意見交換することで、情報発信・情報収集ができます。